

## 0歳1か月 保育器からでたよ

生後0～1か月は、新米の親にとって最もハードな時期かもしれません。

産後の体で慣れない育児をがんばり、休憩はとりながらも昼も夜も24時間対応、赤ちゃんはよく泣き親まで泣きたくなってしまおう・・・。

妊娠中は、そんな生活を思い描きドキドキしていました。

ふたを開けてみると、私たち親子に待っていたのは離ればなれの生活でした。

先月のコラムに書いた通り、子どもが病院にいること自体に不安は感じなかったものの、さみしかったり、状況が受け入れがたかったりする気持ちはやはりありました。

1日15分の面会時間はやっぱり短くて、子どもをつれて帰ってしまいたい衝動にかられることすらありました。

そんな親の気持ちをよそに子どもはすくすくと成長し、保育器から通常のベッドに移り、いよいよ退院のめどが立ってきました。

退院にむけた具体的な話が出た頃のうれしい気持ちは、生涯わすれられません。

本当に退院できるのか信じられなくて頬をつねったら痛くて、もうすぐいっしょに暮らせるんだという喜びがわいてきて・・・、もう感無量でした。

さて退院がみえてくるより少し前、わくわくと心おどる出来事がありました。子どもの服についてです。

元気に成長する姿を見ていて、ふと「もしかしてこの子は無事にお家へ帰れるのかも」と感じ、そうしたら着るものをいろいろと用意してやりたい気持ちになりました。

産前は、「生まれてすぐの服はかわいくてついほしくなるけれど、着られる期間が短すぎて経済的じゃない、あまり買わないようにしよう。冬じゃないんだし、最初

は肌着があれば充分充分。生まれてから顔を見て、似合いそうな服を少しだけ買おう。様子を見て、必要になれば都度増やそう」と思い買わず。

産後は、そもそも服のことどころではない状況が続いた上に、正直な所、さきばしって用意するのも何だかこわかったという気持ちもあり買えず。

もう生後数週間すぎているのに、まだ一着も肌着以外の衣類がありませんでした。

このままでは着るものがないぞ、まずい・・・！と焦りました。

どこで買おうかなと思った時、まさきに思いついたのがフリマサイトでのネットショッピングでした。

「肌ざわりがよくて、デザインもすてきな服をぜひ買いたい」「けれどさすがに今の体調ではお店いくのもしんどい」「枚数がほしいけれど費用はおさえたい」等と考えていたのです。

新生児向けの服は、着られる期間が短いので、状態の良い服が安く出品されているのでは？と思ったのです。

案の定、サイズの小さな服ほど、新品や新品に近いものでもびっくりする位のお手頃価格です。パソコンの前にかじりついて、毎日さがしました。産後の体にさわってはいけない、パソコン操作はほどほどに思いつつ、ついつい長くなりがちでしたが、すぐ目や頭がいたくなるので、あまり長時間は無理でした。

つぎつぎ購入し手元に届いたら、洗濯し並べてながめ、「似あうかな」「こっちはもう暑いかな」等と考える、そんな楽しい日々をすごしました。

以下後日談です。

たくさん買いましたが、どの服も長く着られ、ぜんぶ有効活用でき、結果、買いすぎではなかったです。

子どもは小さかったので、退院当初はぶかぶかで袖や裾をくるくるまくって着せました。

退院直後に数週間着せて、暑い夏はいったんお休みして夏服を着せて、そして秋冬もさらには次の春も着せました。（まだまだ着れました。）

いったい何か月着たやら・・・。赤ちゃん服の常識をくつがえすような状況でした。

小さく生まれた赤ちゃんが服の面でエコだなんて知りませんでした。まあすこし位はメリット(?)があっても良いのかもね・・・と後に思いました。

赤ちゃんグッズの準備は、過不足なく用意しようと思うと、とっても大量な品々から必要かどうか選択することの連続で、なかなか骨が折れますが、これから用意する皆さんは、ぜひ思いきりお買い物を楽しんでもらいたいなと思います。きっと、これから始まる子育てに向けてのしあわせなイベントの一つになります。

ではまた来月・・・。

最後までお読みくださり、ありがとうございました！

#### ※お洋服についてプチ情報※

(お子さんや状況によって、何が適しているか異なると思います。あくまで一例としてお読みください)

低月齢期の服は、すべて「50～70サイズのツーウェイロンパース」を選びました。

着方は、退院直後はワンピースで着せ、大きくなってからは足を分けズボンをあわせてパジャマや室内着として着せることが多かったです。

中古品の購入は、ちょうどいいものを探すのは手間ですが良いものがたくさんあります。

着替えと洗濯は思った以上に頻回なので、洗い替え用としてだけでも備えておくと役立つかもしれません。